

趣旨説明

# いとおしさと愛着 未来の「ものづくり」を考える

総合地球環境学研究所  
上廣環境日本学センター  
阿部健一



Research Institute for Humanity and Nature (RIHN), Kyoto, Japan

# 地球環境「問題」としての「ものづくり」

大量生産・大量「消費」・大量廃棄

安くていいものを

消費は美德

計画的陳腐化

メーカーが意図的に製品の寿命を短く設計し、  
消費者に買い替えを促すマーケティング戦略  
機能的・心理的



地球環境「問題」としての「ものづくり」

大量生産・大量「消費」・大量廃棄

コンビニエンスストア 24/365 日本的

POSシステム：消費者のニーズに細かく対応

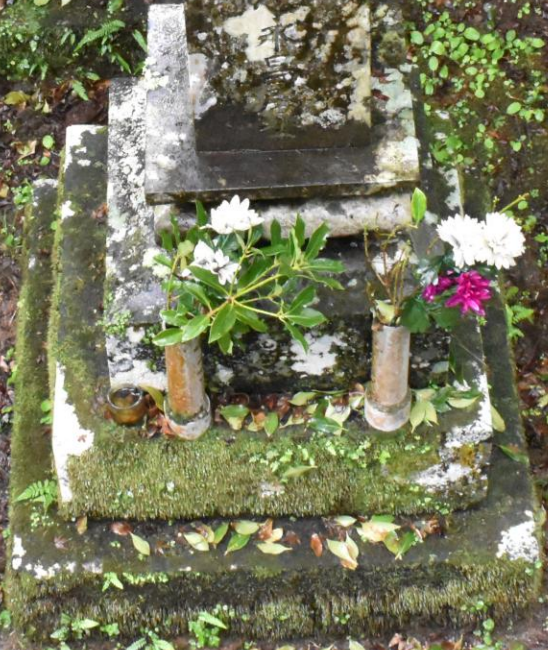
生産年月日⇒賞味期限

……変わりつつある

地域の豊かさを考える

消費者も







神芝  
(Campanula)  
¥400 (税込)

花芝  
(Campanula)  
¥450 (税込)

花芝  
(Campanula)  
¥450 (税込)

地球環境「問題」としての「ものづくり」

大量廃棄

たとえばマイクロプラステック

「ごみ」: 溝にたまる泥: 落葉

いつどこでごみになるのか

鶏糞



# 地球環境「問題」としての「ものづくり」

これから我々はどう「もの」と向き合い  
どのような「ものづくり」をすればいいのか  
何が大切なのか

問題解決ではなく新しい豊かさを考えたい



# プログラム

基調講演1. 「いまなぜ民藝か」

明治大学理工学部 准教授 鞍田 崇 氏

基調講演2. 「綺麗な地球と漆文化を次世代に」

株式会社堤浅吉漆店 代表取締役 堤 卓也 氏

基調講演3. 「もったいないを価値に変える蒸留プラットフォーム構想」

エシカル・スピリッツ株式会社

代表取締役CEO 小野 力 氏

映像による事業紹介: 河西実氏 「ふたつの“M”」

パネルディスカッション

岡橋理事長・鞍田氏・堤氏・小野氏

